

令和4年10月17日

宮崎大学電力購入契約（PPA）による
太陽光発電設備等導入事業の選定結果について

PPAによる太陽光発電設備等導入事業について、最優秀提案者を次の通り選定しました。

また、本事業について、高い技術力及び優れたアイデアに基づいた様々な太陽光発電設備等の導入のご提案をいただきました。ここに、提案者の皆様の多大なご労力に深く感謝申し上げるとともに、引き続き、地球温暖化防止に向けた環境負荷の低減対策など、本学の環境活動にご指導ご協力いただきますようお願い致します。

1. 業務内容

候補となる本学の駐車場等に、自己の所有する太陽光発電設備、附帯設備及びカーポートを設置するなどして、再生可能エネルギー由来の電力を当該施設に供給する。

2. 選定結果

企画競争審査委員会（以下「審査委員会」という。）で審査した結果、次のとおり選定されました。

(1) 最優秀提案者

出光興産株式会社

3. 評価結果

提案者名	評価点数 (1,760点中)	評価点数内訳	順位
出光興産株式会社	1,304点	価格等審査点数：640点 加算審査点数：664点	1位 最優秀提案者
B社	1,110点	価格等審査点数：496点 加算審査点数：614点	2位 次点優秀提案者
C社	—		辞退

なお、大学は、最優秀提案者との間で契約の内容に関する協議が成立しない場合、次点優秀提案者を交渉権者に繰り上げて協議を行う。

4. 審査委員会・評価方針等

審査委員会開催日及び開催場所	令和4年9月13日（火）地域デザイン棟
審査委員	委員8名による審査
審査内容	提案書の評価、優先交渉権者の決定
審査方針	別紙のとおり

5. 問い合わせ先

国立大学法人宮崎大学 施設環境部企画管理課

電話：0985-58-7127

(別紙)

宮崎大学電力購入契約（PPA）による 太陽光発電設備等導入事業に係わる審査方針

1. 事業の目的

国立大学法人宮崎大学（以下「大学」という。）は、大学の事務及び事業に伴い直接的または間接的に排出される温室効果ガスの総排出量を2030年度までに51%削減（2013年度比）することを目標と定め、2050年の「カーボンニュートラル」の実現を目指すことを基本理念として掲げている。

本取り組みを推進する一環として、木花及び清武キャンパスを対象に企画公募方式で民間のノウハウ、資金、経営能力及び技術的能力を活用するPPA（Power Purchase Agreement）モデル（以下「PPA」という。）を活用した太陽光発電設備を導入する事業者を募集します。

本事業により、平常時の温室効果ガス排出削減や災害時における停電時の非常用電源としての活用を実現するとともに、「地域の温室効果ガス排出削減の先導的モデル」としての役割を担うことを目的としています。

2. 審査方法

応募者からのPPA提案書をもとに、提案内容の実行能力を、「5. 審査項目の内容」により審査する。

(1) 価格審査及び加点審査の合計により評価する。

価格等審査項目の配点に以下の計算式で審査する。

①電気料金単価

点数 = $\{1 - ((\text{提案価格} - \text{最低提案価格}) \div \text{最低提案価格})\} \times \text{配点}$

応募者が1社またはすべての応募者の提案が同値の場合は配点×1とする

なお、点数は少数点第1位を切り捨てる。

②発電容量

点数 = $\{1 - ((\text{最大発電容量} - \text{提案発電容量}) \div \text{最大発電容量})\} \times (\text{配点})$

応募者が1社またはすべての応募者の提案が同値の場合は配点×1とする

なお、点数は少数点第1位を切り捨てる。

加点審査項目は提案内容に応じて5段階評価（5～1）で審査する。

各評価項目について配慮がされていない、具体的な記述がない等、評価に値しない場合は、評価点を”0点”とする。

なお、出席委員の総合評価点数の合計点が一定の点数(110点×出席委員数)を満たさない応募者は、最優秀提案者及び優秀提案者に選定しない。(総合評価の満点は220点)

(2) 大学が重視する評価項目に、係数を掛けるものとする。

(3) 評価事項の評価項目毎に、評価の指標に示す全ての評価項目及び対応する企画提案内容を記載すること。

(別紙)

3. 審査の決定方法

- ① 各審査員の評価点数の合計が最も高い提案を最優秀提案者とし、次点を優秀提案者とする。
- ② 上記で評価点数が同点の場合は、加点審査の得点が最も高い提案を選定する。それでも決定しない場合は委員長が最優秀提案者及び優秀提案者を決定する。
- ③ P P A提案書に対し、審査委員より質問があった場合は、質問への回答及び追加資料を求める場合がある。これらは、大学の指定する期日までに提出するものとし、期日に間に合わない場合は、審査対象としない場合がある。

(別紙)

【公募要領より抜粋】

5. 審査項目の内容

審査は評価指標に基づき、企画提案書の審査を行います。

審査項目及び配点

審査項目	評価の指標	係数	配点
1、価格等審査			
1) 単価			
(ア) 電力料金単価	①提案価格は上限価格を下回っているか (上回る場合は失格) 木花キャンパス	—	20
(ア) 電力料金単価	①提案価格は上限価格を下回っているか (上回る場合は失格) 清武キャンパス	—	20
2) 容量			
(イ) 発電容量	①太陽光発電設備の発電容量が大きいか	—	40
2、加点審査			
1) 事業計画			
(ア) 事業コンセプト・CO2削減量	①本学が目指す温室効果ガスを 2030 年度 ▲51% (2013 年度比) を踏まえた事業コンセプトが検討されているか ②地域へのアピール方策を検討しているか	1	5
(イ) 経営状況	①事業代表社は健全な財政能力を有しているか ②その他のグループ構成員の経営状況は問題ないか	1	5
(ウ) 実施体制	①設計・施工、維持管理、検証体制の人数把握がされており、無理なく業務遂行可能か ②緊急時対応方法は適切か	1	5
(エ) 同種業務実績	①過去 10 年以内に本事業と同種業務の整備・運用実績を有しているか [同種業務] ・国又は地方公共団体における太陽光発電施設による 1MW以上の発電事業 ・上記以外における太陽光発電施設による 1MW以上の発電事業 (※国又は地方公共団体の実績を優先的に記載すること)	1	5

(別紙)

評価項目	評価の視点	係数	配点
(オ)資金及び収支計画	①収支計画が提案内容の実現性が担保され、かつ、電力料金収入が想定を下回った場合の対応策が検討しているか ②資金調達手段が確実な提案となっているか	2	10
(カ)スケジュール	①補助金申請と施工スケジュールは妥当なものか ②納期が必要な機材などの確保策が検討されているか	1	5
(キ)技術提案の具体性	①本学の最大需要電力を踏まえた効果的な提案になっているか ②太陽光発電設備の日照条件を踏まえた提案になっているか ③余剰電力の活用は出来ているか	3	15
(ク)独自提案	①独自性、先進性、特殊なノウハウ等や地域特性への配慮した提案となっているか	2	10
2) 設計・施工			
(ケ)駐車場の鋼材の提案	①鋼材の安全性・耐震性に問題は無い(実現可能性は高いか) ②工事完成時の駐車場の削減台数は少ないか ③駐車場鋼材への事故防止の工夫があるか	6	30
(コ)設計・施工上の工夫	①太陽光パネルの耐風圧に関する設計やパネル効率の検討、SDGsに配慮されているか ②施工時の駐車規制の影響を少なくする工夫があるか	3	15
(サ)施工時の品質管理	①施工時の品質確保方策を検討しているか ②安全面や騒音・振動等への検討をしているか	1	5

(別紙)

評価項目	評価の視点	係数	配点
3) 維持管理・運営			
(シ) エネルギー マネジメント	①発電状況及びトラブル監視方法は優れた提案がされているか ②災害時及び停電時に非常電源として活用できるか	1	5
(ス) 故障時等の 対応	①平時及び停電や事故時の対応策は適切か ②維持管理の内容が適切か	1	5
(セ) 創意工夫	①維持管理業務及び計測・検証業務を行う上で、コスト削減及びサービス向上の工夫があるか	2	10
評価項目	評価の視点	係数	配点
4) 引き継ぎ			
(ソ) 太陽光パネルの 撤去等	①撤去・処分方法及び撤去費用の確保策が明記されている ②鋼材に対する譲渡方法、状態及び時期は適切か	1	5
4) その他			
(タ) ワーク・ライフ・ バランス等の取組に関する 認定状況	●ワーク・ライフ・バランス等の取組に関する以下のいずれかの認定を受けているか ①女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)に基づく認定(えるぼし認定企業)又は一般事業主行動計画策定済(常時雇用する労働者の数が100人以下のものに限る) ②次世代育成支援対策推進法(次世代法)に基づく認定(くるみん認定企業・プラチナくるみん認定企業、トライくるみん) ③青少年の雇用の促進に関する法律(若者雇用促進法)に基づく認定(ユースエール認定) ※配点方法【5点: 3つある、3点: 2つある、1点: 1つある、0点: 認定がない】 (グループで応募する場合は、グループ各社で認定を取得していても良い。ただし、各社の同じ種類の認定は1件とする。)	1	5
評価点の合計			220